

文教常任委員会

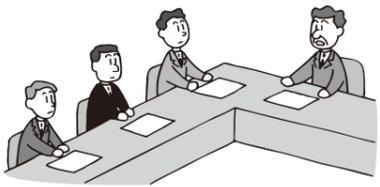
本委員会における審査の経過と結果を報告する。

●宇城市松橋総合体育文化センター条例の一部を改正する条例の制定について

「指定管理者の指定については、どのような方法で指定をするのか」との質疑に対して「行政で仕様書をもとに公募を行い、応募者の中から、宇城市指定管理者公募選定委員会を経て指定する」との答弁があった。更に「使用料を1・3倍まで上げることができるとなっているが、今以上に使用料が上がると、指定管理者が利益を生むのではないか」との質疑に対し「利益を追求しない会社やNPO法人などに指定を考えている。使用料の改正については、経営状況が判断材料となることから安易に改定はできない」との答弁があった。また、「指定管理者に移行した場合、サービスの低下や放棄など考えられるが、条件を付けるのか」との質疑に対し、「地方自治法の改正により、従来の委託制度を指定制度に変えるものであり、

向けての行政の責務として、予算を確保して、最終的には市民総決起大会までもっていきたいと考えている」との答弁があった。これに対し、「廃棄物最終処分場建設計画に対する行政ができる範囲があまり明確ではない。対策室を設置ができるかどうかも含めて、もう少し行政の立場を明確にして欲しい」との意見があった。これに対し、「行政の組織はこの4月から市民部に環境を乗せて市民環境部となり、環境政策を補強・整備し、職員を増員した体制をとっている。今の時点では嘱託員をはじめ7団体を母体とした組織の立ち上げをし、市民運動と連動させながら、今後さらに支援していきたい」との答弁があった。

以上、本委員会の審査の経過と結果の報告とする。



行政以上のサービスと経営感覚を持った民間のノウハウを幅広く活用することを目的とした導入であり、採算性についてはそのときの状況で判断していかなければならない。また3年を目処に契約の更新を考えている」との答弁があった。



宇城市松橋総合体育文化センター（ウイングまつばせ）

●平成19年度宇城市一般会計補正予算（第1号）について

給食総務費、地域に根ざした学校給食推進事業補助金について、「県からどのような調査研究を行うよう指示があっているのか」との質疑に対して「モデルとしての

内容は、地場産物の活用、生産者と学校関係者の連携、方策のあり方であり、宇城市が指定を受けモデル校として三角中学校を中心とした3校については、納入体制が十分とは言えない状態と聞いている。地場産物の円滑な納入体制づくりに米飯給食の実施回数増に伴う体制の整備を盛り込む予定である。また、関係者に対する普及啓発のための実践的な砂糖きび、サツマイモ等の植え付けや収穫の体験などを考えている。今後は、教育委員会、学校関係者、JA等で委員会の組織をつくり事業の展開を検討して参りたい」との答弁があった。

また、地場産物の学校給食への納入割合を今後拡大するように、更にはこのような事業の展開を全市的に取り組むよう意見が出された。

以上、本委員会の審査の経過と結果の報告とする。

UKI-CITY ASSEMBLY REPORT

一般質問

UKI-CITY ASSEMBLY REPORT

楠田 浩 議員

九州新幹線 仮称宇城駅について

問 九州新幹線仮称宇城駅設置期成会が発足したが、その後の状況はどのように推移しているのか。また、是非宇城駅実現に向けて頑張っていたいただきたいが、なぜ九州新幹線宇城駅が宇城市にとって必要不可欠なものなのか。

市長 宇城市が、熊本市や八代市の狭間にあって、取り残されたどこにでもありような郊外の市になることを危惧する。熊本市には熊本駅、八代



養護老人ホーム松寿園

施設白書について

市には新八代駅ができていくが、宇城市が将来にわたって発展していくというこの可能性を示すためには宇城駅は是非必要と考える。

問 養護老人ホーム松寿園は、台風18号の高潮で相当の被害を受け、今では護岸高上げにより以前のような風光明媚な眺望のない中に入所者が暮らしている。近隣地へ移転増床し、デイサービス等の可能な施設整備を望む。施設白書の中間報告では、将来民営化もありうるということだが、現時点での民営化は拙速すぎると思うがどうか。

市長 当施設は老朽化し、台風18号でも死者を出す大きな被害を被った施設でもある。また、部屋のスペース、規模等が非常に狭く入所者の方々に満足を与えていない状況にもある。今後どのような大規模改修をすればいいのかということを踏まえ、魅力ある施設として、民営化の問題も含め検討したいと思う。

問 国道266号が国道に昇格して相当社会情勢が変わっている。いかにアクセスの利便性を保つか、将来的戦略を立てるかが道路問題の大事なことである。また、大型ショッピング施設またインターチェンジを抱えた宇城市として、市長は積極的な予算獲得と、一日でも早い4車線化の実現が必要と思うが、木原・花園・浦川内線及び国道3号線整備促進期成会はどのように進んでいるのか。

市長 これからの宇城市の都市計画の観点から、国道266号については、今後も渋

道路行政について

廃棄物最終処分場の対応について

問 行政が先頭に立ち、全庁的な取り組みとして、施策を講じられるよう指摘する。



農業振興について

問 宇城市農業振興計画の施策優先順位はどのような方向性を考えているのか。また、担い手育成等の取り組みについては本年度に予算が計上されているが具体的にどのようなことを考えているのか。

市長 第1に国の抱える新しい農政転換の取り組み、第2に市内の荒廃田・園といった遊休地をどう図っていくかが緊急課題と思う。また、若手リーダー育成に向け「夢うきうき未来塾」講座を7月からスタートする指示を出した。

橋田 章 議員

庁舎新館について

問 新館建設に際し、市民の理解を得るため分かりやすく、広く、説明・啓発活動を行う必要性があると思うがどうか。

市長 市民の方々には、広報紙や行政懇談会、区長会等の会合でも機会あるごとに説明している。気軽に利用できる、開かれた庁舎であることの啓発も行っている。